



作家  
元国際線乗務員  
**黒木安馬**

【プロフィール】高校時に米国留学後、早稲田大学を経てJAL国際線客室乗務員として30年勤務。世界初の「カラオケ・フライト」や「1万メートル上空・北島三郎機上コンサート」などを実現させる。千葉の自宅は1300坪の山林を開墾してプール、テニスコート、コンサートホール等を手作りする。現在、(株)日本成功学会社長として自己啓発や社員教育で講演中。著書に『ファーストクラスの心配り』、『あなたの人格以上は売れない!』(プレジデント社)、『成「幸」学』(講談社)、『出過ぎる杭は打ちにくい!』(サンマーク出版)、『面白くなくちゃ人生じゃない!』(ロングセラーズ)、『小説・球磨川』(上下巻・ワニブックス)、『雲の上で出会った超一流の仕事の言葉』(あさ出版)などがある。  
E-mail:yasuma@myad.jp URL:http://www.7b.biglobe.ne.jp/~sanpercent-club/

21世紀だ！———人生・農業リセット再出発 263

## 世の中止めるにミサイルいらぬ、海底ケーブル切ればよい

**電**話やパソコンが通じなくなると自宅から連絡があった。昔、光ファイバーNTT回線を自分で水道用塩ビパイプに通して電柱から100mほど家屋まで引いて森の中を這わせた。帰宅して藪を掻き分けると、隣人が草刈り機で作業したようで、パイプを手でたどると小さなノコギリ傷を発見！ NTTの高所工事クレーン付き車両が到着し、コードを切開して光ファイバーを見せてもらって驚いた！ 髪の毛より細い透明ガラス繊維一本があるだけ。これで膨大なデータを瞬時に送信しているとは。友人の防衛省サイバーテロ専門家に話を聞いた。「テロに爆弾不要。ナイフ一本で大企業、警察、病院、発電所、マスコミの通信網切断で大パニックになって国家転覆は簡単」と言う。

**S**NSやサッカーワールドカップ中継など、地球が瞬時に繋がっている国際データ通信の動脈は衛星中継だと思っていたが、99%が海底ケーブル経由だと！ 3万6,000km上空の宇宙衛星は伝送距離が長すぎ、時間差と低品質。家庭用は1秒間に1ギガビットだが、海底ケーブルはKDDIの世界最大容量60Tbps(テラビット)で、DVDデータ3,000枚分を一瞬で送受信する。

**世**界中に敷設の海底ケーブルは378本、120万kmで地球30周分あるが、海底では警護対策が不備で危機管理が課題だそう。ケーブルは1円玉の直径2cmと同じ太さで、日本海溝海底8,000mは富士山の高さ2倍以上の深さ、信号を途中増幅する中継器を50kmごとに設置、東日本大震災で20カ所以上が断線して修復に4カ月かかったが、断線しても別の迂回ケーブルで対応できた。太平洋や東シナ海に沈めたケーブルの集積基地は日本に2カ所あり、三重県志摩市と、千葉県南房総市千倉中継所。北米や日本とシンガポールをつなぎ、韓国・中国・台湾・香港・ベトナム・

タイなどへ延伸して1万1,000km。房総半島南端は、アメリカ大陸とユーラシア大陸を結ぶ両方の最短距離線上にあるが、テロで破壊されれば一瞬で各国は情報寸断で大混乱になる。

**日**本は“Incident Driven”で、ウイルス感染や不正アクセスなどサイバーテロのセキュリティ事故発見後に対処に取り掛かるが、政府の危機管理はズサンだ。台湾有事で日本有事が勃発すれば、中国が日本の海底ケーブル切断を最優先標的にして空と海の情報封鎖を仕掛ける深刻な現実があり、深海でも水中ドローン爆破切断は簡単で、復旧させるには半年以上が必要となる。

**中**国の「国防動員法」の怖さを知っている日本人はまだ少ない。有事の際に日本在住65万人の中国人が中国政府命令で極秘動員されると、在日職員として蜂起して情報網などを切断破壊しなければならない法律なのだ。命令に背くと本国にいる家族親族は人質になる。中国に進出している日本企業と日本人数万人も中国政府命令で捕虜的に動員徴用の対象となる。相手国の通信網をまず遮断するのは昔から戦争の常套手段。TVもラジオも止まって世の中が闇になると、敵はデマを流布して世情攪乱する。

**政**府は、「デジタル田園都市構想」で日本一周の海底ケーブルを敷設、地方分散でデータセンター十数カ所増設と言っている寝物語。水道水が汚染されても除染や煮沸でしのげるが、パイプが切断されたら元も子もない。

**杞**憂であることを願いたいが、いやいや、ミサイルどころの騒ぎではない、明日起こる今そこにある危機なのだ！ 危機とは“危・Crisis”と、“機・Chance”の相反する熟語になる。今回の我が家の小さなトラブルは、なんとも大事な恐怖の気づきを与えてくれたものだ。